

株式会社ツムラ

2018年度 決算説明会

代表取締役社長 加藤 照和

2019年5月10日（金）

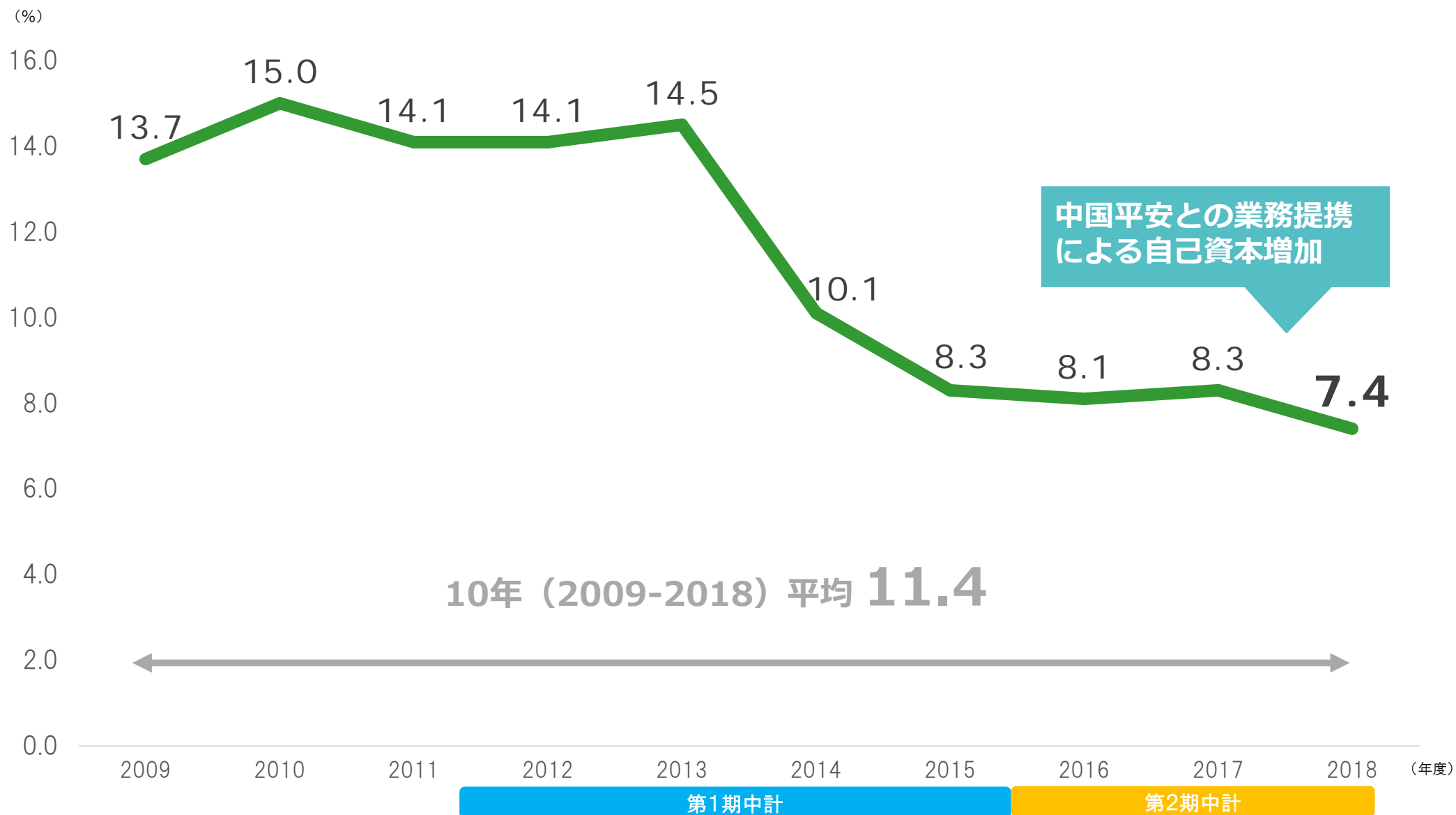
2018年度実績

	2018年度 計画	2018年度 実績	計画比	第2期中期 経営計画	第2期中期 経営計画比
売上高	1,205億円	1,209億円	+4億円	1,200億円	+9億円
営業利益	175億円	185億円	+10億円	140億円	+45億円
営業利益率 (%)	14.5%	15.3%	+0.8pt	11.5%	+3.8pt
親会社株主に 帰属する 当期純利益	128億円	145億円	+17億円	100億円	+45億円
EPS (円)	167円	190円	+23円	140円	+50円
ROE (%)	6.4%	7.4%	+1.0pt	6%	+1.4pt

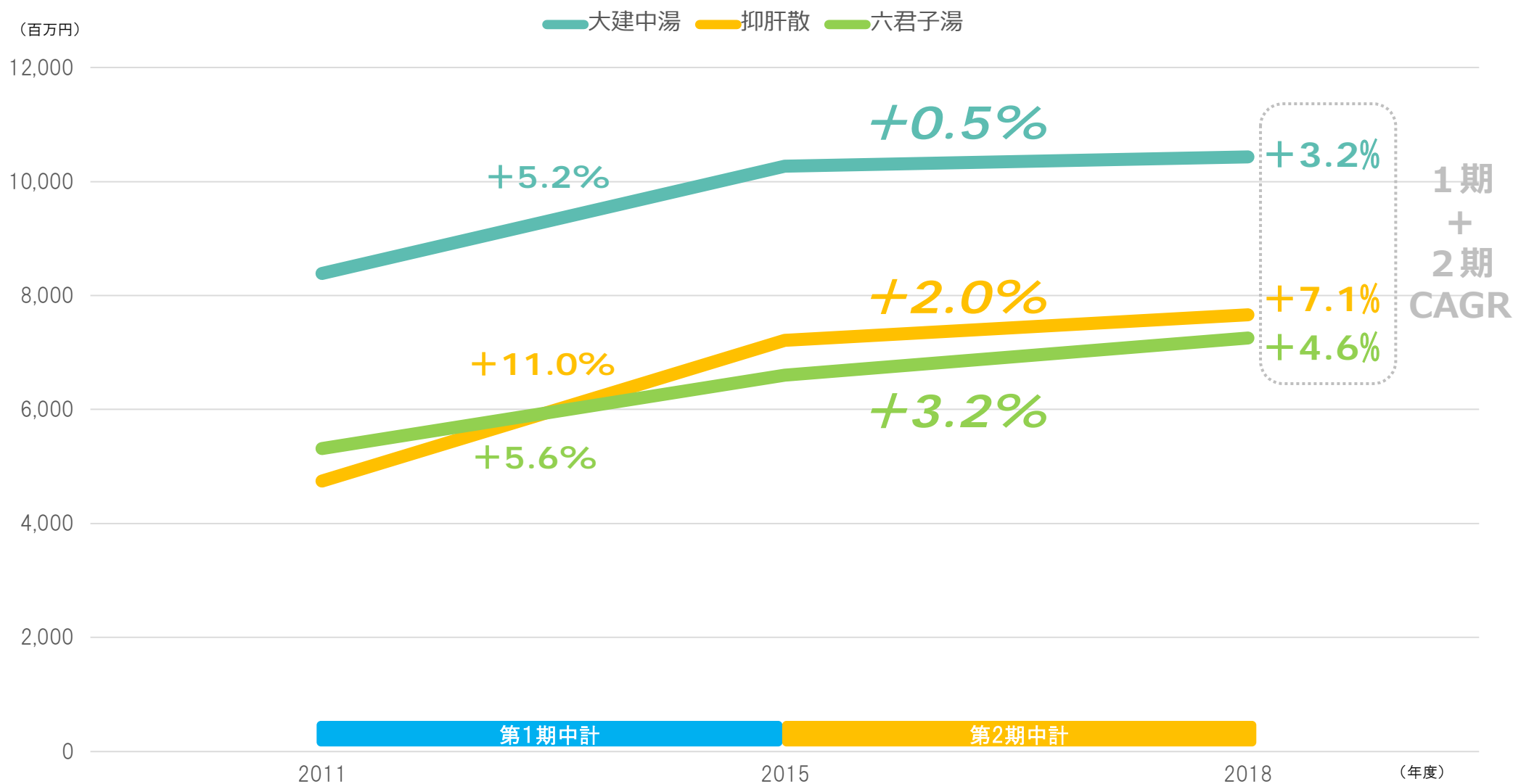


第2期中期経営計画（2016-2018年度）総括

過去10年R O E推移（2009-2018年度）



育薬3処方（大建中湯、抑肝散、六君子湯）年平均成長率



第2期：育薬3処方 年平均成長率 1.7% (1期+2期：4.6%)

定量目標の課題

2021年ビジョン「漢方のツムラ」

販売基本戦略：漢方医学の確立

医師の2人に1人が10処方以上の漢方を処方

2021年度目標

育薬3処方（大建中湯・抑肝散・六君子湯）各100億円以上

大建中湯

術後腸管障害に伴う
腹部膨満感

上記活動に加え、
便秘症に伴う腹痛・腹部
膨満感への活動を強化

抑肝散

単独でのプロモーション

BPSDにみられる症状に
応じた処方の使い分け

六君子湯

上腹部不定愁訴中心

上部消化管疾患治療薬と
してファーストラインの地位確立

事業環境の変化に伴う施策の拡充

BPSD:認知症の行動・心理症状

ファーストライン:第一選択薬。まず最初に投与すべき治療薬のこと



長期経営ビジョンの進捗状況

長期経営ビジョン

“KAMPO”で人々の健康に
寄与する価値創造企業を目指して

“漢方”

のツムラ

国内のどの医療機関・診療科においても、患者様が必要に応じて“漢方”を取り入れた治療を受けられる医療現場の実現に貢献

“人”

のツムラ

世界に手本のない“漢方”ビジネスにおいて、自らが新しい道を開拓でき、誰からも信頼される“人”の企業集団へ

“グローバル・ニッチ”

のTSUMURA

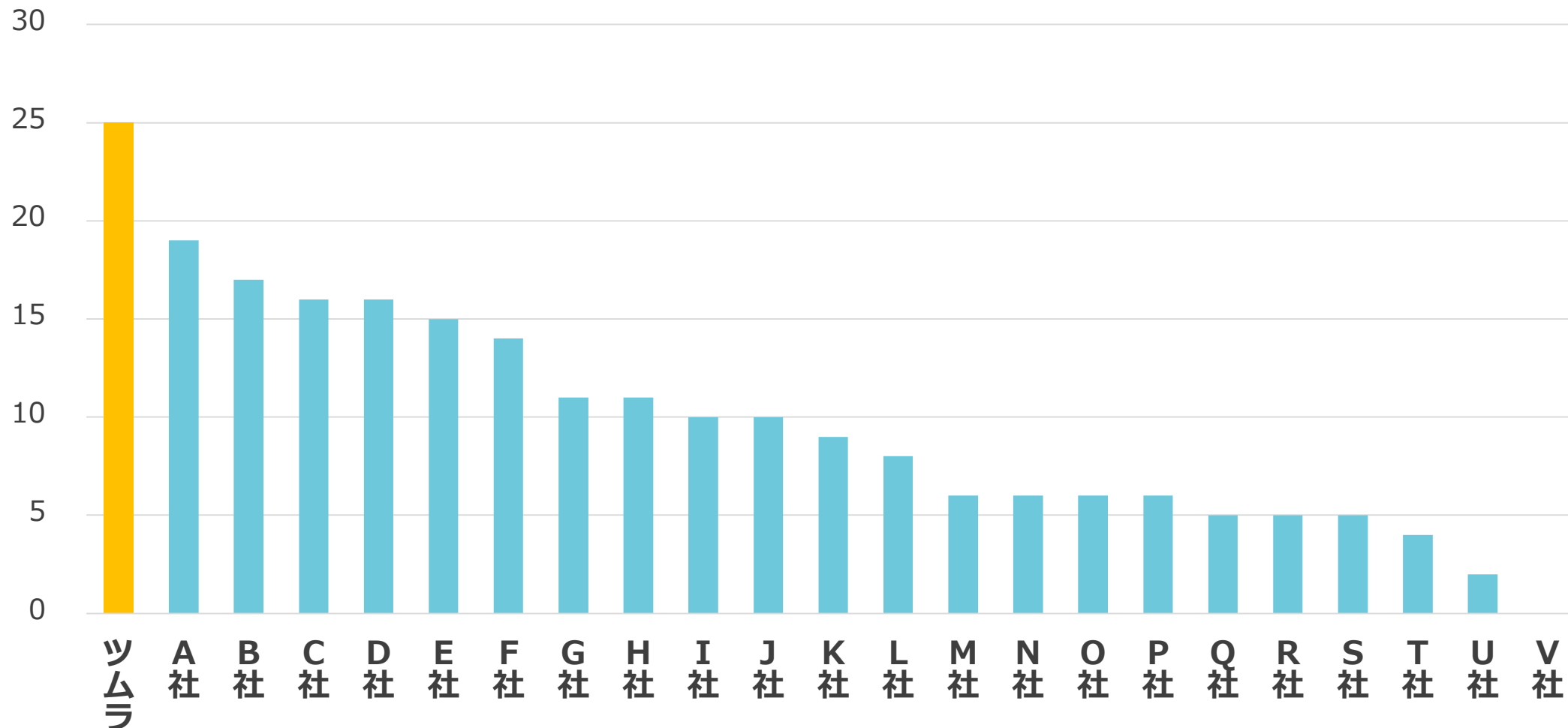
ツムラグループの持つ技術・ノウハウを最大限活用し、米国におけるTU-100（大建中湯）の開発・上市、中国における新規ビジネスへの挑戦

“漢方”のツムラ-多施設への幅広い納入実績-

«2018年1-12月 売上上位販促会社23社（後発品専門メーカー除く）»

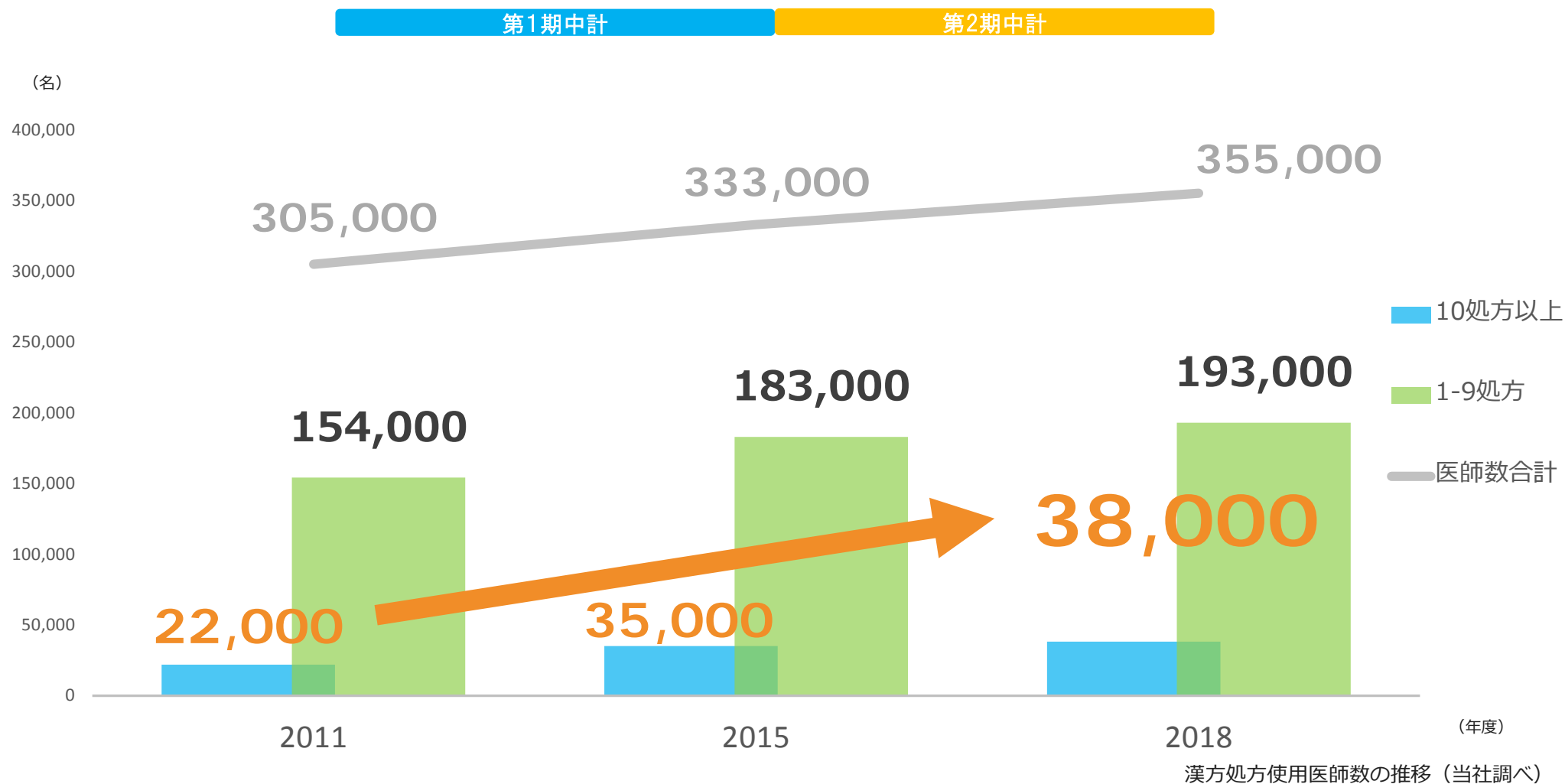
Total : 30,000軒以上
製品数

■ HP + GP + PH = Total : 30,000軒以上製品数



Source:軒数=IQVIA JCC・・・IQVIA JPMの売上上位販促会社23社（後発品専門メーカー様は除く）に限定し、
販促会社別製品別のIQVIA軒数データを抽出。HP・GP・PH合算値を集計
Copyright©2019 IQVIA. JPM・JCC 2018年12月MATをもとに自社分析 無断転載禁止

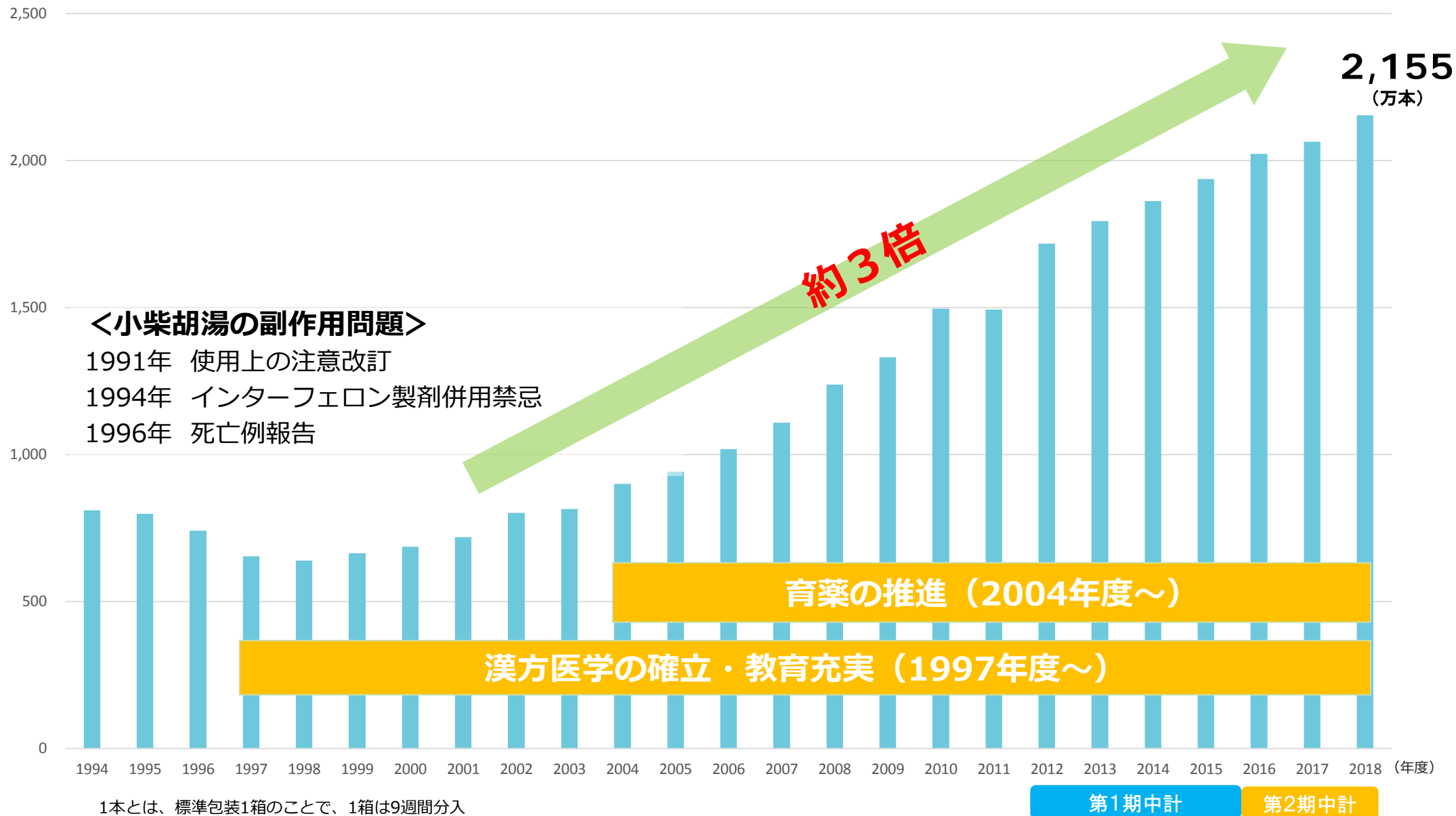
“漢方”のツムラ-医療用漢方10処方以上の使用医師増加数-



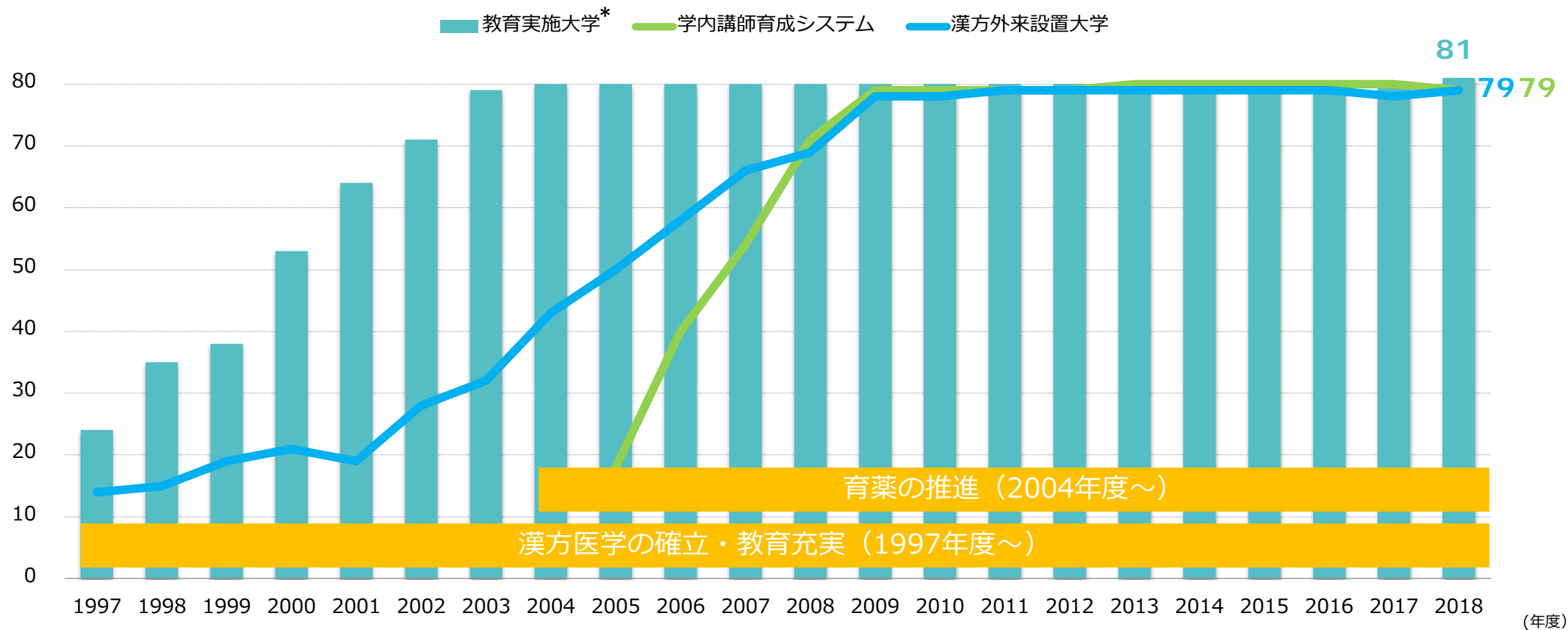
第1期と第2期の7年間で、約16,000名増加

“漢方”のツムラ-医療用漢方129処方 実売数量推移-

単位：万本（換算）



“漢方”のツムラ-大学医学部・医科大学における「漢方医学教育」 -



*2017年度に新設された大学を除く

第1期中計 第2期中計

文部科学省、医学教育モデル・コア・カリキュラム
 (2001年3月発表、2002年度導入)
 ・和漢薬を概説できる



文部科学省、医学教育モデル・コア・カリキュラム
 (2016年度改訂版)
 ・漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる

“漢方”のツムラ-医療系教育モデル・コア・カリキュラム-

漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる

医療の中の漢方薬

- ①漢方薬の基礎
- ②漢方薬の応用
- ③漢方薬の注意点



薬物
(和漢薬を含む)

生体と薬物

- ①薬物と医薬品
- ②薬理作用
- ③薬物の適用と体内動態
- ④薬物の副作用と有害作用

薬物及び薬物投与による人間の反応※

主な治療薬(末梢神経系に作用する薬、《中略》、分子標的薬、医療用麻薬、麻酔薬、
主な和漢薬(漢方薬))の作用、機序、適応、有害事象および看護援助を説明できる

※文部科学省 平成29年10月【大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会】 2017.10.31 公表

“人”のツムラ-ツムラアカデミーの設立-

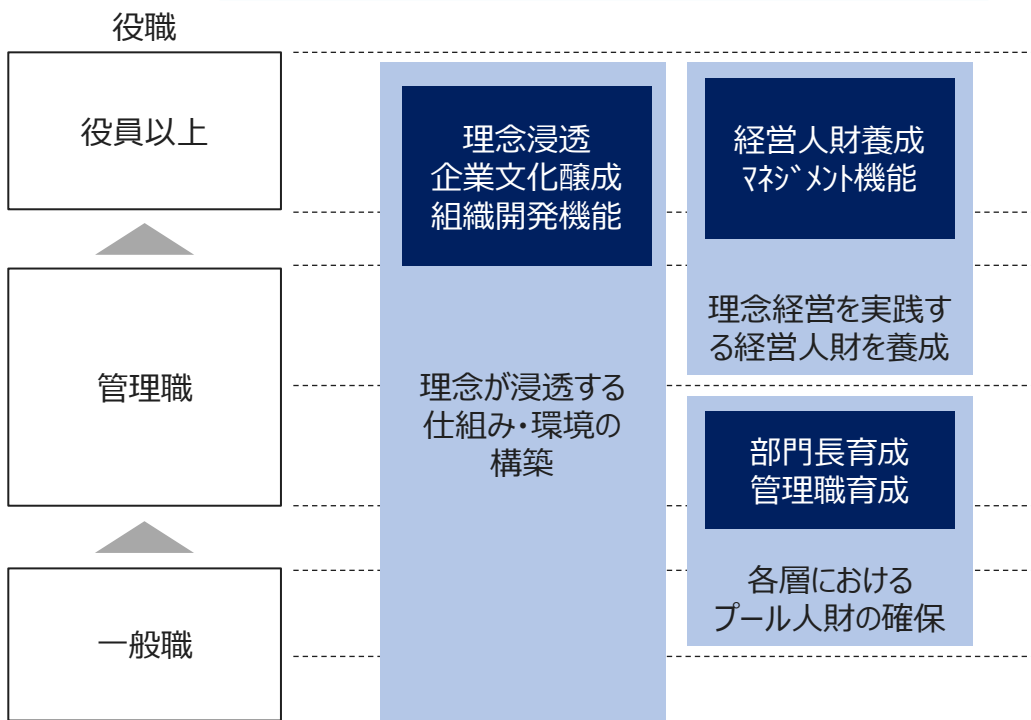
成果：①“人”のツムラ研修による理念の浸透
②ツムラアカデミーの設立

グループ

理念の浸透による企業文化の醸成
クオリティカルチャーの醸成

海外
(中国)

中国事業を担う現地幹部社員の養成



目的：理念に基づく経営を実践できる経営人財を連綿と輩出する

“グローバル・ニッチ”のツムラ-TU-100（大建中湯）開発-

成果

- ① 開発ターゲット疾患「術後イレウス（POI）」
- ② 日本、アメリカにおけるアドバイザー・チームを編成

- ・ 術後イレウスは重大なUnmet Medical Needsである
- ・ TU-100は、術後イレウスに対する治療薬として十分有望である
- ・ 日本の医学界による漢方国際化への大きな要望・支援がある

“グローバル・ニッチ”のツムラ-TU-100（大建中湯）開発-

副次的な成果

開発過程において、以下の新技術を活用

システムバイオロジー
メタボロミクス
腸内細菌
ビッグデータ

漢方医学、漢方薬の研究を
加速化

- ・ 漢方の作用機序解明
- ・ 漢方の医療経済的効果など

新技術活用による「漢方の新たな可能性」

漢方への信頼性向上・医療現場における漢方の定着に貢献

“グローバル・ニッチ”のツムラ-中国事業-

成果：中国事業に向けた基盤構築が着実に進展

- ① 津村（中国） および各事業を担う合併会社を設立
- ② 「薬食同源」製品等のテストマーケティングを開始

平安津村有限公司の商品



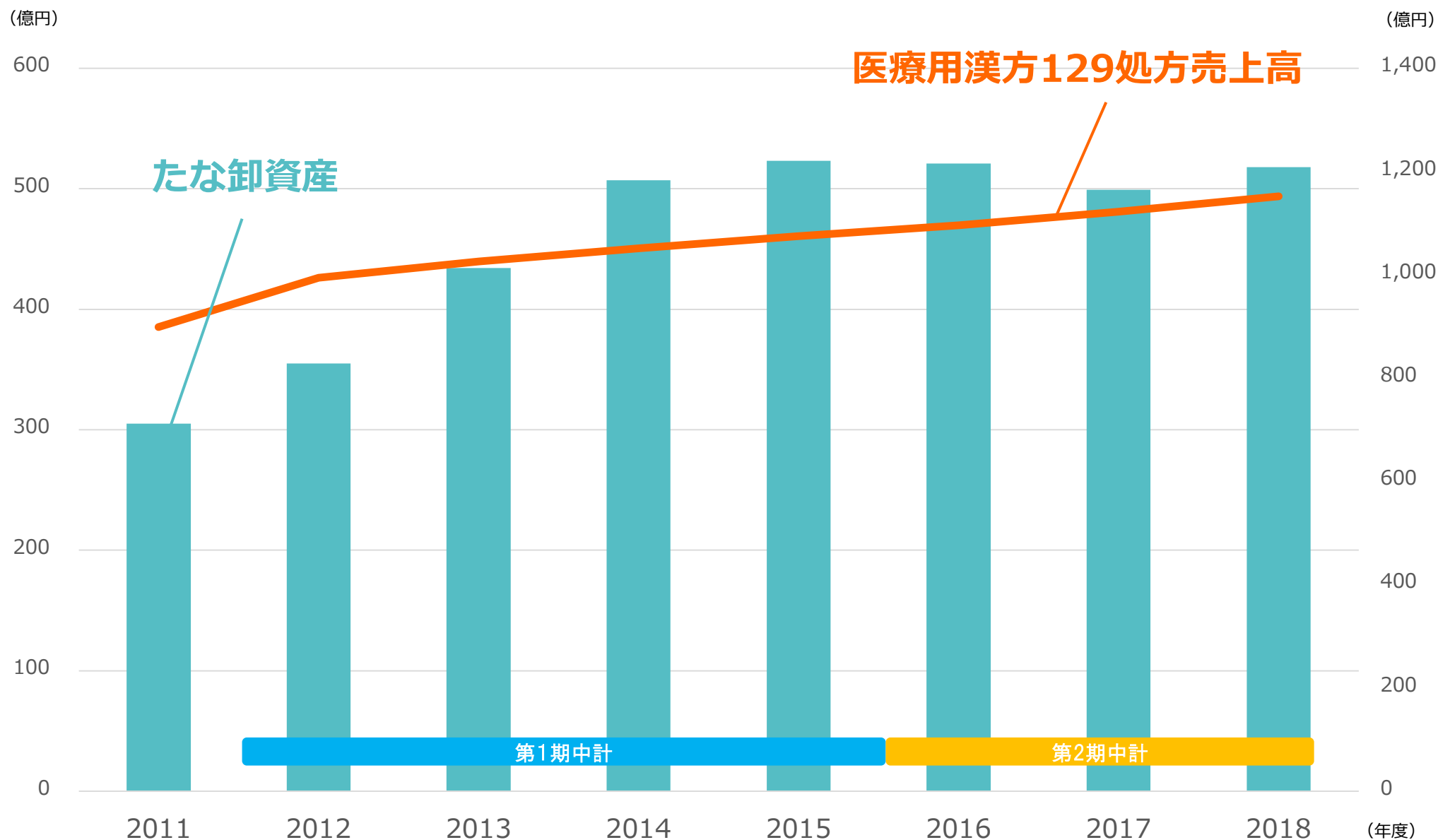
中薬No.1企業を目指し、高品質な「平安津村ブランド」構築へ

キャッシュ・フロー（2016-2018年度）

（億円）

	金額	主な内訳
現金及び現金同等物の期首残高	251	
営業活動キャッシュ・フロー	475	利益（当期純利益+減価償却費） 601 売上債権の増減 △27 たな卸資産の増減 △12 仕入債務の増減 8 前渡金の増減 △73
投資活動キャッシュ・フロー	△ 372	固定資産取得 △280 有価証券売却等 81 資金運用等 △163
財務活動キャッシュ・フロー	219	借入返済 △172 社債発行 300 増資 273 自己株式取得 △50 配当 △137
換算差額	△11	
現金及び現金同等物の期末残高	562	

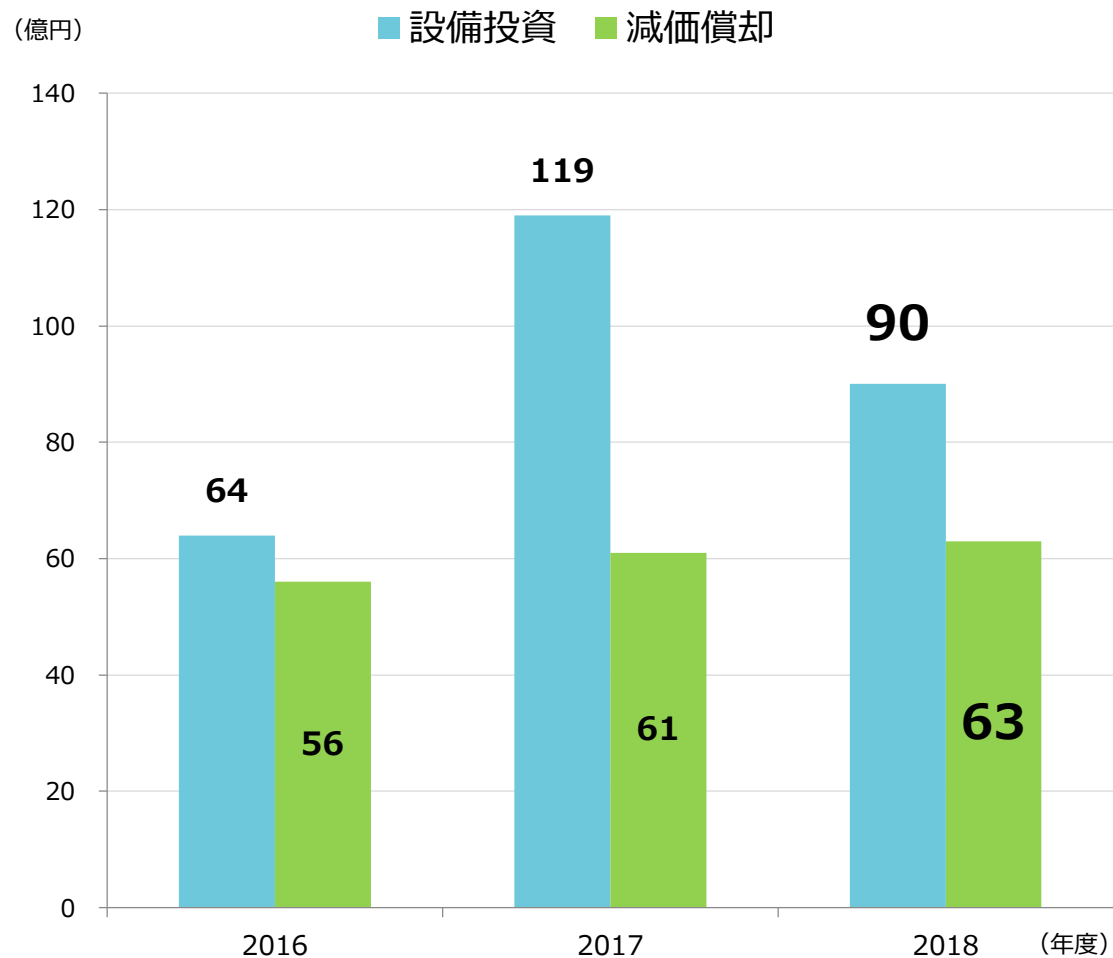
たな卸資産および医療用漢方129処方売上高の推移



設備投資

(億円)

	計画	実績
第2期中期経営計画（2016-2018年度）	330	274



主な投資内容

静岡工場 新造粒包装棟
茨城工場 新第3SD棟



SD:スプレードライヤー



参考資料

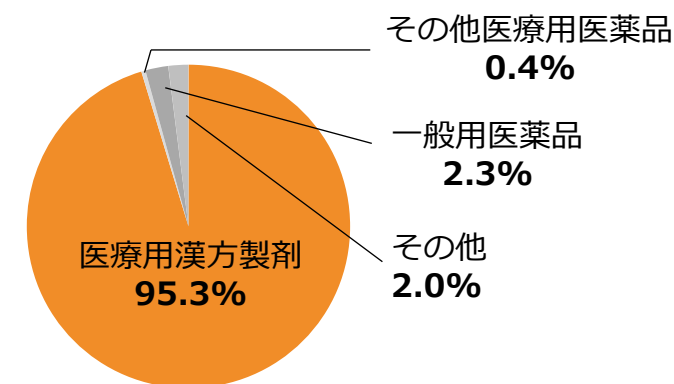
2018年度 決算の概要

(百万円)

	2018年度 計画	2018年度 実績	達成率	2017年度 実績	前期比	
					金額	伸長率
売上高	120,500	120,906	100.3%	117,879	3,027	2.6%
営業利益 (営業利益率)	17,500 (14.5%)	18,520 (15.3%)	105.8%	17,050 (14.5%)	1,469	8.6%
経常利益	18,000	19,702	109.5%	17,914	1,787	10.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,800	14,593	114.0%	14,504	88	0.6%

	2018年度 計画	2018年度 実績	2017年度 実績
EPS	167円	190円	200円
ROE	6.4%	7.4%	8.3%

売上高構成比



決算のポイント

➤ 薬価改定の影響下においても売上高、利益ともに計画達成（前期比：増収増益）

連結売上高	120,906 百万円	計画達成率	100.3%	前期比	2.6%
-------	--------------------	-------	---------------	-----	-------------

□ 医療用漢方製剤の販売が前期比2.7%伸長したこと等により、前期比30.2億円（2.6%）増収

営業利益	18,520 百万円	計画達成率	105.8%	前期比	8.6%
------	-------------------	-------	---------------	-----	-------------

営業利益率	15.3 %			前期比	0.8pt
-------	---------------	--	--	-----	--------------

□ 売上原価率は40.9% 生薬関連コストの低減等により、前期比△1.2pt、計画比+0.2pt

□ 販管費率は43.8% 販売関連費用の増加等により、前期比+0.3pt、計画比△1.0pt

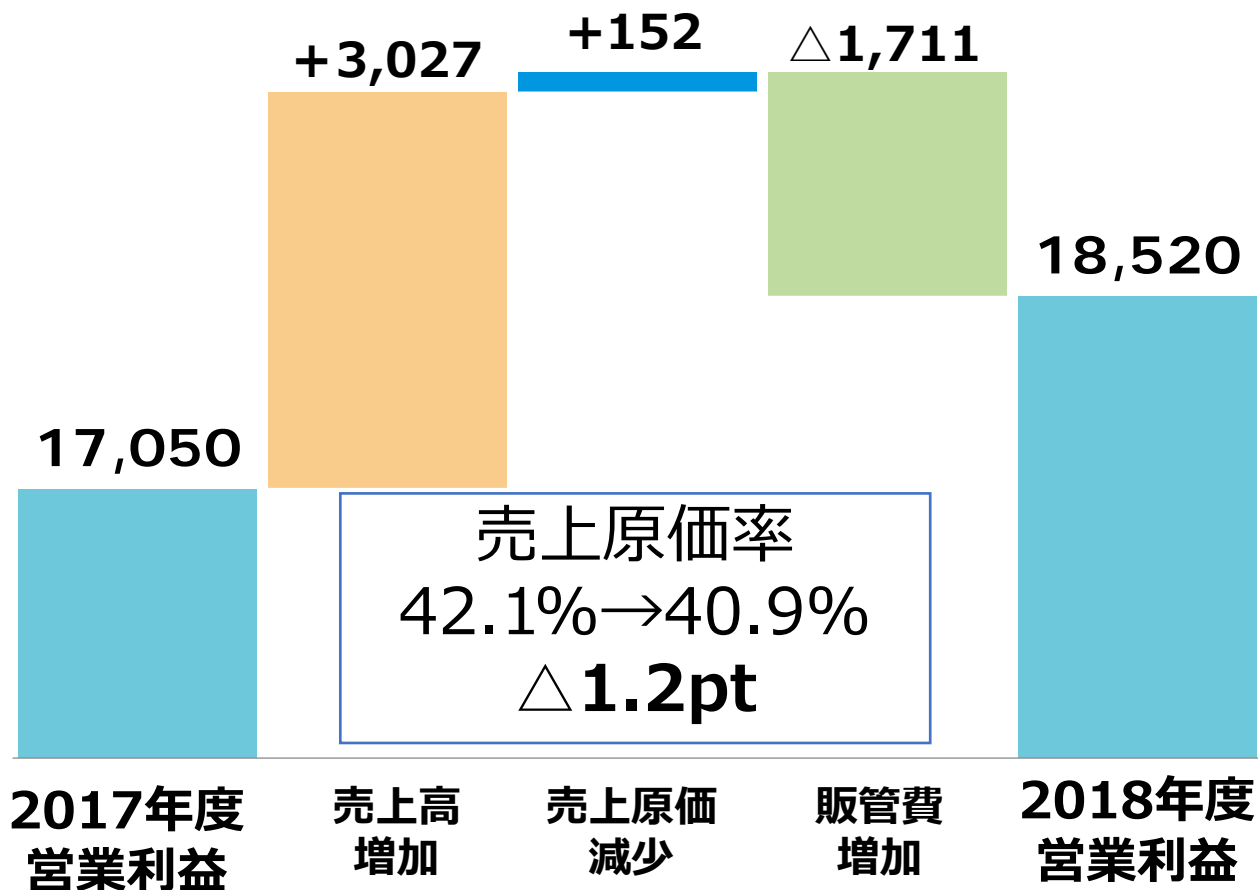
経常利益	19,702 百万円	計画達成率	109.5%	前期比	10.0%
------	-------------------	-------	---------------	-----	--------------

親会社株主に帰属する 当期純利益	14,593 百万円	計画達成率	114.0%	前期比	0.6%
---------------------	-------------------	-------	---------------	-----	-------------

営業利益の増減要因

(百万円)

(百万円)



売上高増減内訳

医療用漢方製剤129処方	+2,980
その他	+47

売上原価率増減内訳

薬価改定	+0.5pt
生薬関連コスト	△1.3pt
加工費の改善	△0.4pt
為替の影響	+0.3pt
その他	△0.3pt

販管費増減内訳

販促費、感謝金	+1,225
研究開発費	△122
広告宣伝費	△22
人件費	+405
その他	+225

財務状態とキャッシュ・フローの状況

バランスシート

(百万円)

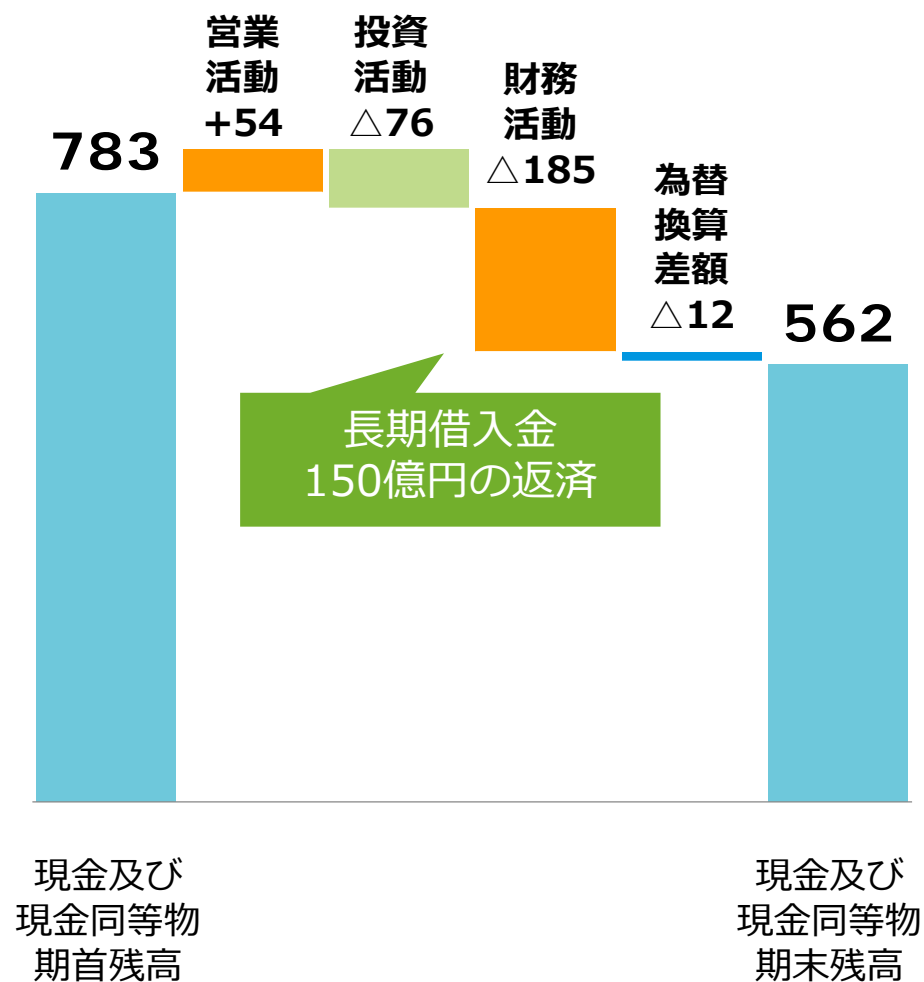
	2018年 3月末	2019年 3月末	増減額
資産合計	292,379	287,322	△5,056
流動資産	190,888	190,027	△860
固定資産	101,491	97,295	△4,196
負債合計	95,846	81,181	△14,665
流動負債	48,766	33,320	△15,445
固定負債	47,080	47,861	780
純資産合計	196,533	206,141	9,608
自己資本比率	66.2%	70.2%	4.0pt

(百万円)

B/S	2018年 3月末	2019年 3月末	比較増減
たな卸資産	49,994	51,806	1,813
(商品及び製品)	8,008	9,382	1,374
(仕掛品)	12,797	11,125	△1,671
(原材料及び貯蔵品)	29,188	31,299	2,110

キャッシュ・フローの状況

(億円)



2018年度 医療用漢方製剤 売上高上位10品目の売上高推移

(百万円)

順位	分類	処方名	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
1	育薬処方	大建中湯	8,383	9,094	9,785	9,993	10,273	10,328	10,584	10,430
2	育薬処方	抑肝散	4,748	6,041	6,628	6,895	7,215	7,330	7,571	7,664
3	育薬処方	六君子湯	5,314	6,163	6,612	6,633	6,604	6,863	7,044	7,256
4	Growing処方	補中益気湯	5,885	6,567	6,883	6,965	6,968	6,947	7,098	7,158
5	Growing処方	芍薬甘草湯	3,456	3,803	4,179	4,440	4,688	4,853	5,031	5,097
6	Growing処方	麦門冬湯	3,453	3,879	3,996	4,178	4,494	4,511	4,511	4,734
7	Growing処方	加味逍遙散	3,700	4,102	4,264	4,285	4,465	4,465	4,534	4,539
8	Growing処方	五苓散	1,684	2,140	2,438	2,719	3,082	3,363	3,722	4,124
9	育薬処方	牛車腎気丸	3,564	3,783	3,812	3,814	3,838	3,733	3,686	3,625
10	-	柴苓湯	3,228	3,358	3,343	3,308	3,351	3,399	3,403	3,464
18	-	人參養栄湯	584	632	628	640	668	701	913	1,549
21	-	加味帰脾湯	862	1,013	1,102	1,211	1,237	1,249	1,342	1,422
22	育薬処方	半夏瀉心湯	902	1,120	1,181	1,230	1,250	1,276	1,334	1,350
23	-	抑肝散加陳皮半夏	636	758	816	884	1,009	1,098	1,187	1,289
		育薬3処方合計	18,446	21,299	23,026	23,522	24,092	24,522	25,200	25,350
		育薬5処方合計	22,913	26,203	28,020	28,568	29,182	29,532	30,221	30,327
		Growing5処方合計	18,180	20,493	21,763	22,589	23,699	24,141	24,898	25,653
		129処方合計	89,964	99,457	102,680	105,193	107,599	109,647	112,274	115,255

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ

TEL : 03-6361-7100

I R 推進グループ

TEL : 03-6361-7101

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。